

## テントを収納する

※各部の名称は裏面の「各部材の名称」を参照してください。

1 ロープ先端に取り付けたベグ、またはパッドに打ち付けたベグをすべて抜き取ります。なお、風対策用品(加重プレート等のオプション品)をご使用の場合、または、ベグと併用してご使用の場合はこれを取り外します。

2 ロックアジャスターJ(右図、裏面「各部の名称」⑩参照)を押して、アウターレグを一番下までスライドさせます。

### △注意

- アウターレグとインナーレグの連結部で手や指をはさむ恐れがあります。インナーレグに触れないよう、アウターレグの下部(スライダーJ 2P [もしくはJ 3P] から下)をしっかり持ち、ロックアジャスターJのロックが解除になっていることを確認した上で、ロックアジャスターJの高さ調整レバーを押し込み、ゆっくりと長さを縮めてください。
- バランスを崩してテントが倒れる恐れがあります。アウターレグをスライドさせる際は、必ず四隅以外(中央の2本)から先に縮めていき、一辺に並んだ2本の脚を、同時に縮めてください。

3 天幕に結んだロープをほどき、天幕内側の紐とロープを外します。

### △注意

- 天幕内側の紐は必ず外して下さい。天幕を破損したり、紐の劣化を早める原因となります。

4 四隅の天幕を少しめくり上げ、ロックピン(右図、裏面「各部の名称」⑨参照)すべてを引いて、ロックを解除してください。

### △注意

- スライダーJ 2Pにより手や指をはさむ恐れがあります。しっかりトラスバーを押さえ、ロックを解除してください。

5 マジックテープで固定された箇所をすべてはがし、天幕を取り外します。

※天幕は取り外して収納することで、摩擦による傷みも少なくなり長持ちします。

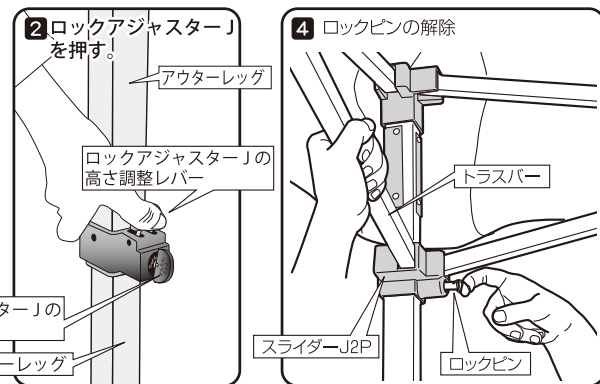
※2色もしくは4色カラー天幕は生地特性により、色の移行が発生する可能性がありますので、裏面が同色面同士が重なるように収納してください。

6 トラスバー下側のV字部分を持って、本体フレームを浮かせながらゆっくりと縮めてゆき、最後はアウターレグを持って縮めます。

### △注意

- トラスバー、アウターレグ等により手や指をはさむ恐れがあります。本体フレームを縮める際は十分に注意を払い、ゆっくりと作業してください。

7 本体フレームは本体収納バック、天幕を天幕収納袋に収納し、付属品の数を確認してください。

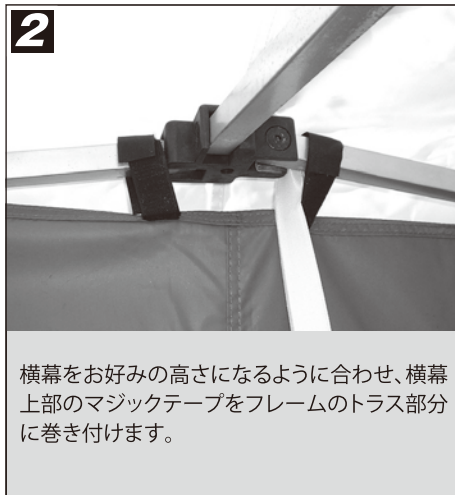


## オプション品

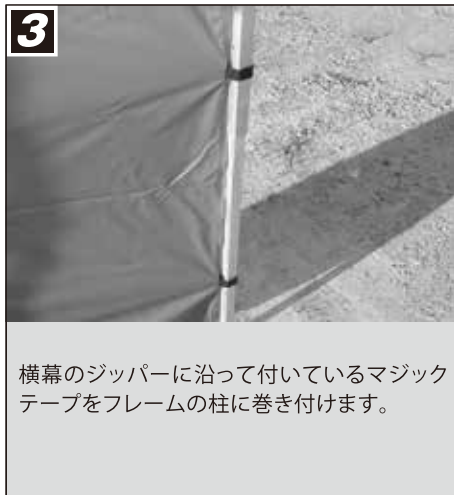
### 横幕取付方法



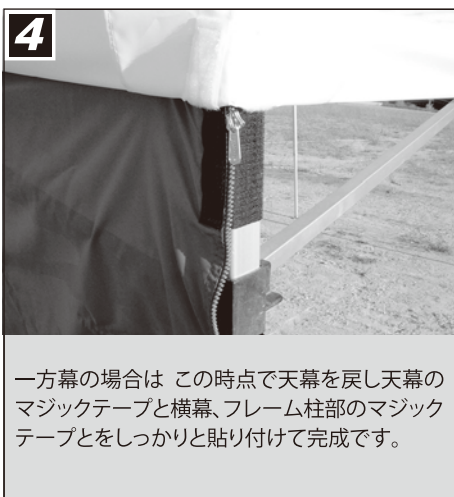
本体柱部の天幕を外し、フレームの柱に付いているマジックテープと横幕内面に付いているマジックテープを重ね合わせて貼り付けます。



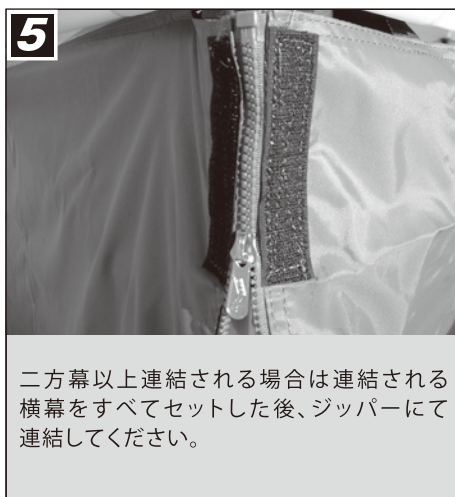
横幕をお好みの高さになるように合わせ、横幕上部のマジックテープをフレームのトラス部分に巻き付けます。



横幕のジッパーに沿って付いているマジックテープをフレームの柱に巻き付けます。



一方幕の場合は この時点で天幕を戻し天幕のマジックテープと横幕、フレーム柱部のマジックテープとをしっかりと貼り付けて完成です。



二方幕以上連結される場合は連結される横幕をすべてセットした後、ジッパーにて連結してください。



すべての横幕を連結した後、天幕を戻し天幕のマジックテープと横幕、(フレーム柱部)のマジックテープとをしっかりと貼り付けて完成です。

## メンテナンスについて

1. 使用後は天幕と本体フレームの汚れを落とし、よく乾かしてから収納してください。天幕の汚れがひどくなると美観を損なう上、耐候性・耐久性も悪くなります。また定期的に中性洗剤の希釈水を使って汚れやクスマを拭き取り、天幕や本体フレームに洗剤が残らないように濡れ雑巾等で拭き仕上げをしてください。(シンナーやアルコール類は素材や生地を傷める原因となるので絶対に使用しないでください。)

2. 塗装部のはがれやサビを発見した場合は、市販の補修用品で早期に塗装、補修を行ってください。

3. ボルト各部やネジ等、緩みがないか定期的にチェックを行い、緩みを見つけた場合は付属の六角レンチ等で締めつけてください。その際、締めすぎますと、ネジがからまわりして壊れるおそれがありますので、適度にしてください。

4. 天幕などの生地製品は経年劣化してきます。防水効果も低下しますので、市販の防水スプレーや目止剤を使い、定期的に塗布することをお勧めします。また、キズや穴あきがある場合はシーラー剤等を使用して補修を行ってください。

5. 天幕を濡れた状態や高温多湿な場所に長期保管されると、色うつりやひびついたりする事がございます。定期的に広げてメンテナンスを行って下さい。

6. 天幕単品・フレーム単品・部品をお求めの場合はお買求めいただいた販売店へお問い合わせください。


## 保管場所について

●本品を保管の際は、直射日光を避け、雨のあたらないような風通しの良い湿気の少ない場所に保管してください。

## 仕様

品番	サイズ	軒高	全高	収納サイズ	重量
KA/9W	3.6×3.6m	224~255cm	344~375cm	24×24×187cm	37.6kg
KA/10W	3.6×5.4m	224~255cm	344~375cm	24×31×187cm	52.7kg
KA/11W	3.6×7.2m	224~255cm	344~375cm	24×41×187cm	60.8kg

フレーム	柱部 :アルミ角パイプ+アルマイトコーティング仕上げ トラスバー他 :硬質スチール+粉体焼付塗装仕上げ	天幕素材	ポリエステル100%・500D (防水加工(裏面ポリウレタン塗布)、防炎加工、UVカット塗布処理済)
ジョイント	グラスファイバー+ナイロン6化合物	高さ調整	5段階調整
付属品	本体収納バック、天幕収納袋、ベグ、ベグ収納袋、ロープ、六角レンチ	オプション	砂袋(15kg用)、加重プレート(10kg・20kg)、ウェイトバック(10kg用)、横幕(一方幕)、かんたんキャリア、補修テープ、張綱セット、他

http://www.sakuracorporation.com		お問い合わせ、ご用命は……	
 <b>株式会社さくらコーポレーション</b>			
本社	〒610-0342 京都府京田辺市松井宮田26-1	TEL0774(65)4468	FAX0774(65)4063
関東営業所	〒344-0026 埼玉県春日部市武里中野285-4	TEL048(737)0171	FAX048(737)0181

## ワンタッチテント

# かんたんてんと®

## 要保管

# キングサイズ

### スチール+アルミ複合フレーム

KA/9W KA/10W KA/11W

### 梱包内容

- 本体フレーム……………×1
- 本体収納バック……………×1
- 天幕……………×1
- 天幕収納袋……………×1
- ペグ……………×8  
(KA/10W・KA/11Wのみ……………×10)
- ペグ収納袋……………×1
- ロープ……………×4
- 六角レンチ……………×2
- ワイヤープレス……………×4  
(KA/11Wのみ……………×8)



このたびは、本品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

安全にお使いいただくために、ご使用前に本取扱説明書をよくお読みの上、本書に掲げる使用方法に従い、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

またお読みになった後はいつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。



## 本品を安全にお使いいただくために、下記の要領を必ずお守りください。

※なお、誤った取扱方法や使用状況、また改造等による破損・損害・事故および経年劣化等による各部の劣化・損傷・サビや腐食の発生につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

## 安全上のご注意

### ● シグナルマークの定義 ●



この指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性、および物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

### ● 警告ラベルについて ●

本品のフレームには、右図のような警告ラベルが貼り付けられています。警告ラベルの貼り付け箇所を確認し、要領を守ってご使用ください。また、故意に剥がしたり、隠したりしないでください。万一警告ラベルが剥がれてしまった場合は、ラベルをご購入いただき、再度貼り付けてください。



## 使用条件

### ● 使用環境 ●

- ①大雨、強風、突風、雪、雷などの天候不順時、または設置期間中にそれが予想される場合には危険ですので使用しないでください。テント本体が倒れたり、飛ばされたり、水が溜まる等の恐れがある上、人が傷害を負ったり、物を破損させる原因となります。また、降雪時には雪が積もり倒壊する恐れがありますので使用しないでください。
- ②使い勝手を良くする為、天幕には軽量で薄手の生地を使用しております。その為、過度の負担がかかる環境での設置や使用方法によりテントの寿命を著しく縮める場合がございますのでご了承ください。

### ● 用途 ●

- ①本品を常設用として使用しないでください。本品は、一時的かつ簡易的に使用することを目的とした構造となっているため、常設用として使用した場合、思わぬ事故につながる可能性があります。また、簡易目的用とした構造のため、完全な雨除けとしてはご利用いただけません。縫製部分より水が入る可能性がありますのでご了承ください。
- ②本品を改造したり加工したりしないでください。改造・加工による本体の倒壊や、人が傷害を負ったり、物を破損させる恐れがあります。
- ③本品には、絶対登らないでください。また、ぶら下がったり、物を吊りたりする等、過度の負担を掛けるような行為はしないでください。倒壊や破損につながり非常に危険です。
- ④テントの用途以外のご使用はしないでください。思わぬ事故につながる可能性があります。

### ● 取扱上の注意 ●

- ①設置時にはテントが水平・安定した状態になるように設置し、台や箱等不安定な場所や滑りやすい場所には設置しないでください。設置後は必ず「ロープ」と「ベグ」、または別売りの「砂袋」「加重プレート」「ウェイトバッグ」等で各テント支柱を固定し、張り綱をしっかりと取り付けてください。別売りの重り等で固定する場合は各テント支柱を20kg以上の重りで固定してください。また、固定した後も、突風による本体の倒壊や、人が傷害を負ったり、物を破損させる恐れがあります。
- ②本品を使用する際は、無人で放置しないでください。また、周囲に危険な物は置かないでください。思わぬ事故につながる恐れがあります。
- ③本品に電源や火器類を近づけないでください。フレームには金属を使用しており、感電の危険があります。また、天幕の素材には、防災加工のポリエステルを使用しておりますが、破損や火災発生の原因となります。 ※ 防災加工とは燃えにくい、または燃え広がりにくいことを意味し、全く燃えないということではございません。
- ④ご使用前に、本取扱説明書をご理解いただいた上で、必ず一度組み立てテストを行ってください。その際は、付属品の不足、不良等が発見された場合は、お求めになった販売店へお申し付けください。また、本テントの使用、保管はお客様に管理してください。当社では一切責任を負いかねますので予めご了承ください。
- ⑤設置前に、設置場所が本取扱説明書の使用条件を満たしていることをご確認ください。
- ⑥設置・収納作業時には、トラス部分(ジャバラ状の骨組み)、スライド部分、ストッパー部分に手や指をはさむ恐れがありますので、作業時は軍手等を着用し、ケガや事故のないよう十分に注意しながら作業を行ってください。
- ⑦移動・設置・収納作業は安全のため、必ず大人2人以上で行ってください。また、フレームを設置、撤収する際は負荷がかかりますので、無理せずゆっくり行ってください。変形や破損する恐れがあります。
- ⑧本品は、鉄・アルミパイプを使用しているため、足元に落としたり、手や指をはさむと大変危険です。取り扱いには十分にご注意ください。
- ⑨テントは、たるみがなく「ピン」と張った状態で使用し、天幕に水が溜まらないよう十分に注意してください。天幕に水が溜まると、天幕の寿命を縮める他、フレームが曲がったり、倒壊の危険があります。
- ⑩設置後に、フレームの全てのストッパーが確実にロックされているか、ご確認ください。ロックされていない状態でストッパーに触れると、倒壊の危険があります。

## SGマーク制度について

一般財団法人 製品安全協会では安全な製品として必要なSG基準に適合した製品のみSGマークを表示することを認め、万一テントの欠陥によって発生した人身事故に対して補償をする制度です。

### SGマーク制度登録工場

当社は安全を保証するSGマーク制度「イベント用テント」の登録工場になっております。当社のかんたんてんとは製品の安全性と万一欠陥によって発生した人身事故に対する補償まで、安心してご利用いただけます。

### SGマークラベルについて

本品のフレーム・天幕には、左図のSGマークラベルが貼り付けられています。SGマークラベルと製造番号ラベルは剥がさないようにしてください。

### 万一、事故が起きた場合は

SGマーク表示製品の欠陥により人身事故が生じた場合は一般財団法人製品安全協会が次の点について調査、製品試験、検討の上、損害賠償措置を実施します。

- (1)SGマーク表示製品の欠陥があったかどうか。
- (2)被害者の人身事故が、SGマーク表示製品の欠陥によって起きたかどうか。
- (3)どの程度の損害が発生したか。

### 賠償措置の手続きについて

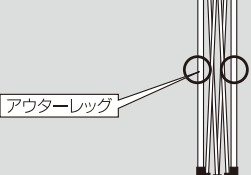
- (1)製品の欠陥により事故が起きた場合は、すぐに一般財団法人製品安全協会へ連絡してください。(03-5808-3303)
- (2)事故発生届等を提出していただきます。(原則として60日以内)
- (3)事故の状況を何ととも、事故品について欠陥があったかどうかの判断をするために必要な調査や試験を行います。
- (4)上記の申出内容や調査結果を検討して、賠償措置を実施するかどうかを決定して通知します。
- (5)賠償措置を実施することとなったときは、賠償措置実施請求書及び損害を立証する資料等を提出していただき、損害額の算定を行って示談を行うことになります。

## テントの組立て方法

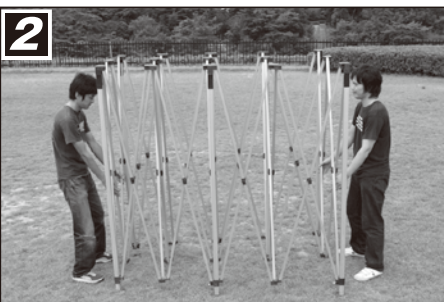
※写真は「KA/11W」を例に説明しています。テントの大きさや形状に違いはありますが、他の規格品も組立て手順は同じです。なお各部の名称は裏面「各部の名称」を参照してください。



四隅のアウトターレッグを持ち、少し浮かせながら左右に広げます。



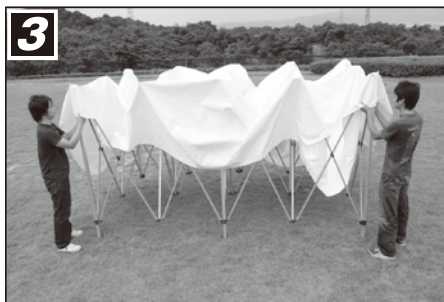
▲注意 フレームが引っ掛かっている場合がございますので、無理に広げないで下さい。



中央のアウトターレッグの左右にあるトラスパー下側のV字部分を持ち上げながら、外側に引っ張り、本体フレームを半ばまで広げます。



▲注意 ピークボールがピークストップから抜けていると、フレームは開きません。差し込まれているのを確認して下さい。



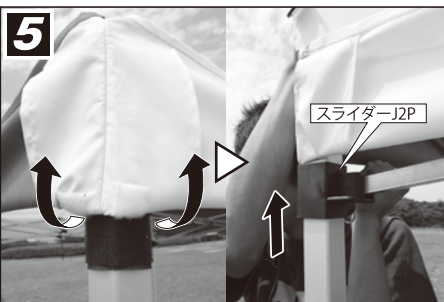
天幕を袋から出し、本体フレームにかぶせ、天幕と四隅のアウトターレッグのマジックテープを合わせます。



▲注意 脚はすべて同じ長さ(水平)に揃えてください。



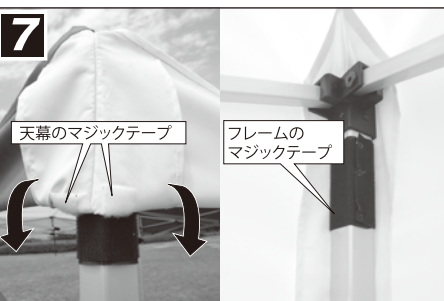
トラスパー下側のV字部分を持ち上げながら、さらに外側へ引っ張り、本体フレームを最大まで広げます。



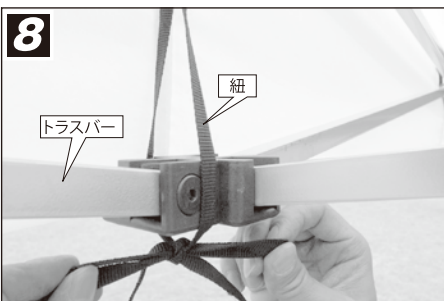
四隅の天幕を少しめくり上げ、アウトターレッグにあるすべてのスライダージ2Pを、「パチン」と音がするまで押し上げます。

※ロックがかかりにくい場合は天幕の角を一度外してから押し上げてください。

▲注意 手や指をはさまないようご注意ください。



6でめくり上げた天幕を戻し、天幕とアウトターレッグの四隅のマジックテープを固定させます。なお中央2本のアウトターレッグは※1の写真のようにマジックテープを巻き付けて固定します。



天幕の裏側についているすべての紐をトラスパーに結びつけます。

▲注意 紐は必ず全て結んで下さい。紐を結ばないと、万が一の降雨時に、天幕に雨が溜まり、フレームが倒壊するなどの危険があります。



ベース部(パッド)を足を踏みながら、両端のアウトターレッグのロックアジャスターに付属している「ロックレバー」が解除になっている事を確認した上で(写真1)、「高さ調整レバー」を押し込みながら(写真2)、アウトターレッグを伸ばします。

▲注意 必ず一辺に並んだアウトターレッグを同時に持ち上げてください。

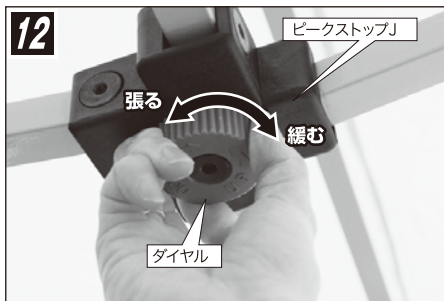
▲注意 ロックレバーのON-OFFの表示範囲を超えて、回すと破損する恐れがございますので、ご注意ください。



反対側のアウトターレッグも同様に伸ばします。同じく中央のアウトターレッグも伸ばします。

なお、テントの高さは、ロックアジャスターの高さ調整レバーを押しながらアウトターレッグを持ち上げ、伸ばすことで、3~5段階のお好みの高さへ調整することができます。

▲注意 脚はすべて同じ長さ(水平)に揃えてください。

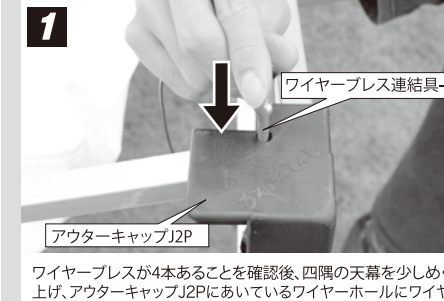


ピークストップの下についているダイヤルを回して、天幕の張り具合を調節します。

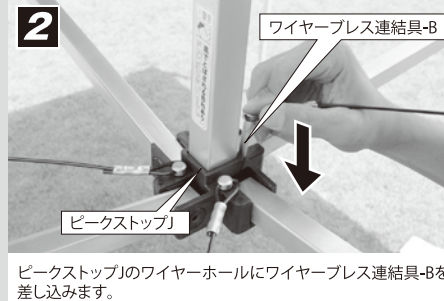
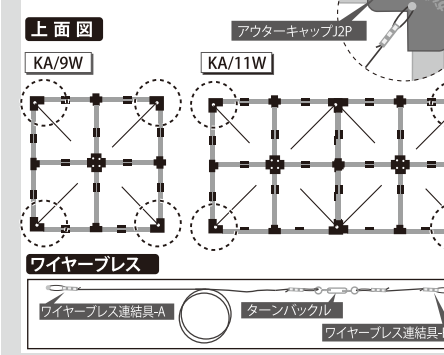
※出荷時は一番低い状態です。※約10cm上下します。

▲注意 テントは、たるみなく「ピン」と張った状態にセットしてください。

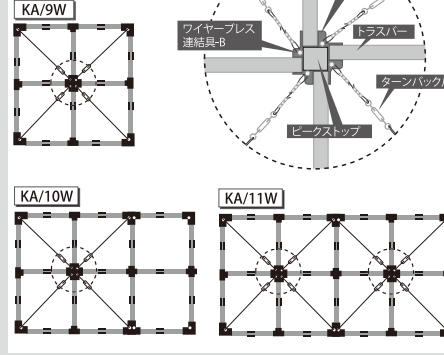
## ワイヤープレスの取付方法



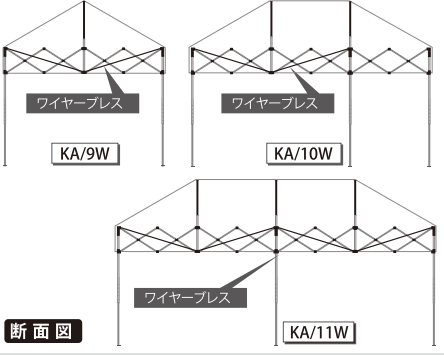
ワイヤープレスが4本あることを確認後、四隅の天幕を少しめくり上げ、アウトターキャップJ2Pにワイヤープレスの連結具-A(ターンバックル)がいない方を差し込みます。次にピークストップのワイヤーホールにワイヤープレス連結具-Bを差し込みます。4本のワイヤープレスを取付たら、ターンバックルをまわしてワイヤーを締め付けます。



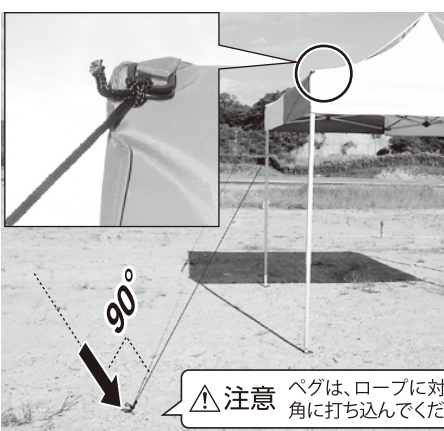
ピークストップのワイヤーホールにワイヤープレス連結具-Bを差し込みます。



ターンバックルをまわしてワイヤープレスが「ピン」と張るまで締め付けます。



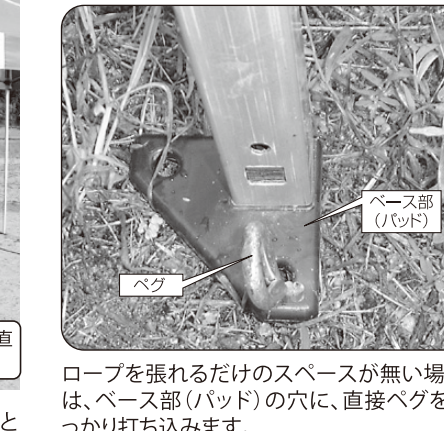
## テントを固定する



天幕の四隅にあるプラスチックの留め具にしっかりとロープを結び、ベグをテントの対角線上にしっかりと根元まで打ち込みます。

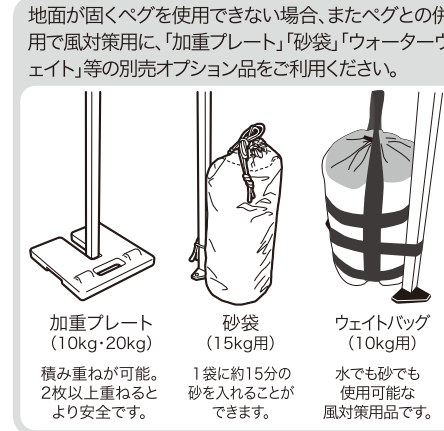
※四隅以外のアウトターレッグには、ベース部の穴へ直接ベグを打ちます。

### ●ロープを張るスペースがない場合



▲警告 強風などに煽られ、固定したベグやロープ、ウエイトが外れてしまい事故が起る恐れがあります。風対策用のウエイトを併用した場合でも十分に過信はせず、悪天候時や天候の悪化が予想される場合、また突風が起こる可能性がある時は、テントの使用を中止してください。

### ●固い地面や風対策に...



▲警告 強風などに煽られ、固定したベグやロープ、ウエイトが外れてしまい事故が起る恐れがあります。風対策用のウエイトを併用した場合でも十分に過信はせず、悪天候時や天候の悪化が予想される場合、また突風が起こる可能性がある時は、テントの使用を中止してください。